

多くの疾患で、こころの状態と身体の状態は関連しているといわれています。

この研究では、身体症状とこころの関係が性別や年齢によってどのように影響を受けるか調査しました。また、こころの状態と身体症状について、あまり研究されていない目や耳、泌尿生殖器系などの器官についても調べました。調査対象は心療内科クリニックを初診で訪れた 258 人で、こころの状態は、GHQ、STAI、CED-D の質問票を使用し、身体症状は、コーネルメディカルインデックス（CMI）を使用して、その関連性を分析しました。

調査結果から性別による関連性の違いが明らかになり、さらに年齢層では、40～59 歳が特にこころの状態と身体症状に関連が生じやすく、器官別にみると、主に呼吸器系、心血管系、消化器系、神経系において、関連の深いことがわかりました。また、こころの状態と、目や耳、泌尿生殖器系（生殖器と泌尿器系の器官を含む）などの器官との間にも関係のあることもわかりました。

この調査研究で、こころの状態と身体症状の関連性が幅広い器官で認められ、最も関連の生じやすい受ける器官と性別や年齢による違いも明らかになりました。